



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

米原・近江支店担当 谷城 敏生です。
携帯 080-4761-6531

今月の話題

- ◆ 中干し前後の雑草対策
- ◆ 高品質・良食味米の生産に向けて
- ◆ 水稻カドミウム吸収抑制対策(準備編)
- ◆ 農作業中の熱中症にご注意ください。
- ◆ 農政ダイジェスト

メモ

- ✓ 稲の生育・品質を左右する重要な時期です。ほ場を確認し、気になる事があれば、お気軽にご連絡下さい。

いもち病予防
忘れずに
しっかり処分



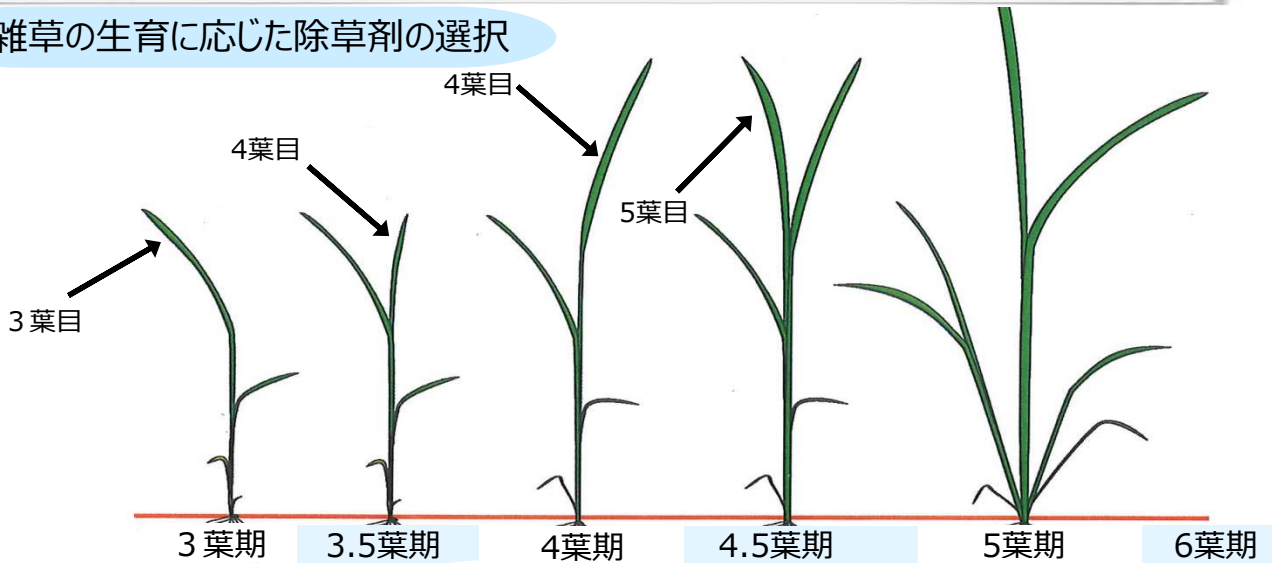
令和1年産の加工・業務用タマネギの収穫がスタートしました。気候の影響もあり球の肥大が進み今年は大玉の割合が多い傾向。

6月に収穫作業を終え、その後は経済センター内にある施設にて乾燥調製、機械選別をし実需者へ出荷されます。

中干し前後の雑草対策

今年は日本各地で、5月としては30℃越えの記録的な暑さとなるなど高温となりました。今後も気温が高くなる傾向にあることから、取りこぼし雑草の生育が早まると思われます。中干し前後が最終の雑草対策時期となりますので、現場を確認し、除草対策に努めましょう。

● 雑草の生育に応じた除草剤の選択



中干し前

サンパンチ
1キロ粒剤
ノビエ3.5葉期まで
収穫60日前まで

ヒエ
広葉雑草

- 湛水で散布し、3～4日間は湛水を保つ！
- 草丈はクログワイは30cm、クサネムは20cmまで適応。

ヒエクリーン1キロ粒剤
ヒエクリーン豆つぶ250
ノビエ4葉期まで
収穫45日前まで

ヒエのみ

- やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にし、水の出入りを止め散布する。

グリンチャー1キロ粒剤
1.5kg/10aの場合
ノビエ5葉期まで
1kg/10aの場合
ノビエ4葉期まで 収穫30日前まで

ヒエのみ

- 深水で散布し、3～4日間は湛水を保つこと。
- しっかり止水、自然減水で、茎葉に水面が触れるように！

中干し後

グリンチャーEW
ノビエ6葉期まで
収穫30日前まで

ヒエのみ

- しっかり落水して散布。
- 使用の際は展着剤を加用する。

グリンチャーバスME液剤
ノビエ5葉期まで
収穫50日前まで

ヒエ
広葉雑草

- 落水して雑草の茎葉が十分に出ている状態での散布が効果的！
- 散布後3日間は放置する。

バサゲラン
液剤 収穫50日前まで
粒剤 収穫60日前まで

広葉雑草のみ

- 落水状態で使用する。
- 散布後3日以上放置し、処理後7日間は降雨でも落水しないこと。
- 高温・晴天時で効果が高い。
- スポット処理も可能

高品質・良食味の生産に向けて



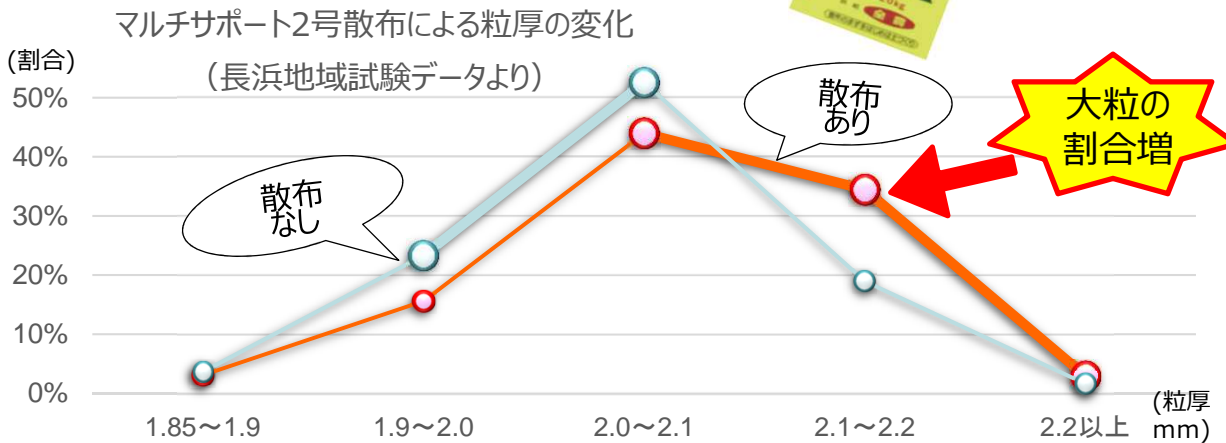
イネの生育中期には、様々な栄養素が必要な時期になります。3大要素(窒素、リン酸、カリウム)が必要ですが、稲の生育においてはその他の微量元素(ミネラル)の補給も大切です。

●6月の追肥の効果

- ✓ けい酸とマグネシウム(苦土)が相乗効果により倒伏防止に繋がる。
- ✓ 微粒要素(鉄、マンガン、亜鉛)の働きにより食味向上に効果あり。

①マルチサポート2号の紹介

苦土	けい酸	鉄	マンガン	亜鉛	銅	ホウ素
12.0%	20.0%	3.0%	0.2%	0.05%	0.02%	0.2%



②マルチサポート2号の散布方法

散布時期と散布量

- ✓ 出穂40日前に落水状態で散布
(水に溶けやすい為尻水戸止めて散布する)
- ✓ 施肥量40kg/10a



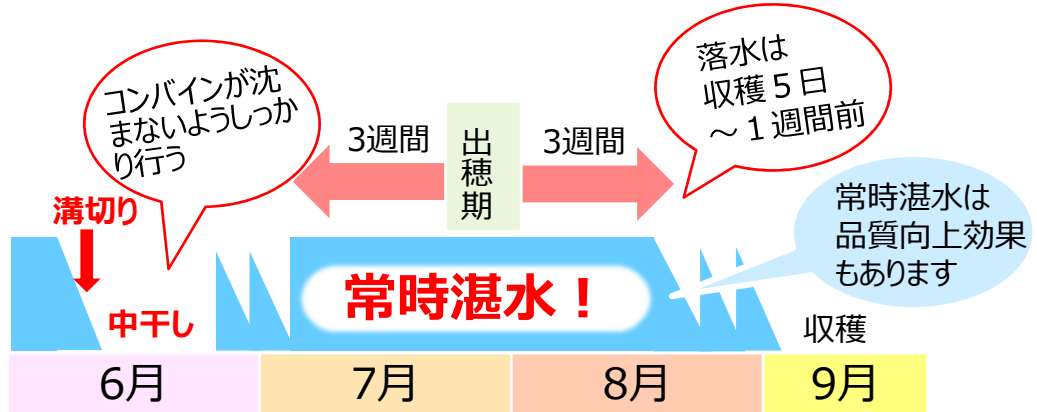
ミネラルの補給は人間と同じで、稲にとっても大切です。

水稲カドミウム吸収抑制対策(準備編)

玄米中カドミウムの吸収抑制するため、出穂前後各3週間の水管理は、湛水状態を維持する必要があります。そのため湛水管理ができるようほ場の準備が必要です。

●湛水管理に向けてほ場の準備

- ✓ 適期の中干し・溝切りを行い、収穫5日前まで入水できるようにしましょう。
- ✓ 畦畔などの水漏れ点検を行い、湛水管理ができるようにしましょう。



農作業中の熱中症にご注意ください！

熱中症は梅雨の合間に突然気温が上がったなど、身体が暑さになれていない時期にもかかりやすい病気です。これからの時期に向けて熱中症の予防ポイントなどを紹介させていただきます。

● 熱中症予防のポイント

作業前

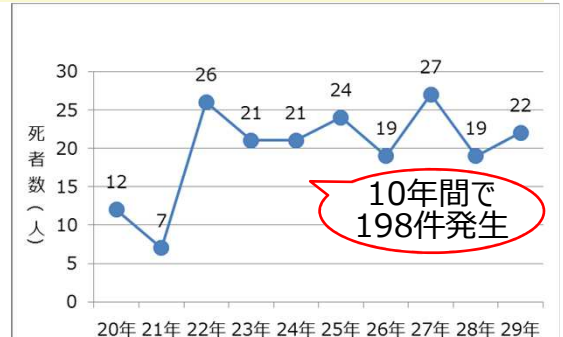
- ・通気性の良い服装と帽子の着用。
- ・家族に作業場所、帰宅時間を伝える。
- ・高温時の作業は極力避ける。

作業中

- ・のどが渇く前に水分補給。
- ・こまめな休息、塩分補給。



農作業時の熱中症による死亡者数の推移



● 熱中症が疑われる時の応急処置

- **日陰など涼しい場所に移る。**
- **体を冷やす。**

濡らしたタオルなどを首周り、脇下や足の付根に当てて冷やすことが効果的です。



- **水分補給をする。**

スポーツドリンクや経口補水液でバランスの良い水分補給をしましょう。



症状がひどい場合は医療機関へ

頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感などの症状がある場合は医療機関を受診してください。



ひと月の動き

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋
～定価(税込)606円 購読申込受付中～

40年連続、「コシヒカリ」がトップ

米穀安定供給確保支援機構が、2018年産の品種別作付け動向を公表。「コシヒカリ」が全体の35%を占めていることが明らかになった。1979年産から40年連続で首位をキープ。しかし、割合自体は減少していて、品種が多様化していることがうかがえる。

より地域に根ざした農地集積に

農地中間管理機構(農地集積バンク)見直し法案が、衆議院農林水産委員会で可決。現状、同機構は都道府県単位で設置されているが、野党側から「成果が出ていない」などの提起がなされていた。とくに全会一致で採択した付帯決議には、「人・農地プラン」の実効力をアップするため、地域の農業事情を把握している市町村や農業委員会などの活動を支援していくよう、政府に求めた。

食品ロス、いまだ600万t超

農水省と環境省が、2016年度の食品ロスの推計値を発表。食べられるのに廃棄されている「食品ロス」は、643万tにのぼることがわかった。15年度の646万tからわずかに減少したが、いまだ食品ロスが深刻な状況にあることが明らかになった。

レーク伊吹の動き

タマネギ現地検討会を開催

5月28日に、JAレーク伊吹経済センターにて、タマネギ現地検討会を開催し、県内の各JA、自治体、農業農村振興事務所の担当者の方が出席されました。初めにJAレーク伊吹の加工用タマネギの取り組みについて報告があった後、新たな機械化一貫体系について説明がありました。